



仕事・ボランティアで
日々楽しく!!



宇治市国民健康保険運営協議会長

小永井征也 氏

昨年 8 月、工作中に不整脈による脳梗塞で倒れた。だが、とてもそんな風には見えない。同席した以前からの知人も、そのことにまったく気付かなかったほど元気だ。本業は設備機器販売会社の会長だが、運営協議会長のほか商工会議所の役職も務めていて、忙しい毎日を過ごしている。

健康法について聞くと「困ったなあ」と笑いつつも、以前実践していたことを紹介してくれた。健康のためと思ってウォーキングを始めてみたが、義務感だけでは長続きしない。そんなとき高速道路の地図を眺めていると、東京から大阪まで約 500 km ある。

「もし歩いたら何日かかるだろう、と思って挑戦してみたんです。」

目標とする距離を設定することで、ウォーキングに目的意識が芽生え、半年で達成することができた。それ以降全国的高速道路を制覇していったという。約 6600 km 歩いて北海道でいったん中止したが、また始めてもいいかなと思っている。

プライベートではロータリークラブに所属しており、後進国に学校や井戸を造ったり、子ども達にポリオワクチンを投与するといった活動を行っている。地域によって支援すべきことが違う上、予算の問題もあり難しいが、やりがいもある。豊かさの意味について考えさせられることも多い。

「行く先は貧しい国ばかりですが人の心は豊かですね。現地の母子の姿をみるとほっとします。」

物質的には恵まれていても、子どもまで時間に追いまわされる日本人は本当に幸せなのか、疑問に感じることもある。

現在 69 歳。これからについて聞くと、多忙な毎日から早く脱出してのんびりしたいと返ってきた。だが職場や運営協議会での信頼は厚く、海外での活動も続けたいと考えている。

特別なことはしていないというが、精力的に過ごす日々が健康の秘訣なのだろう。

「毎日遊んでるんだと思いますね。切りぬけてみればみんな楽しい思い出です。」

引退はまだまだ先のことになりそうだ。